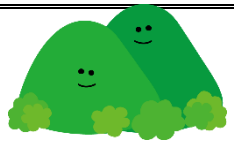
学校教育目標 『気づき 考え 行動する』 ～自分たちの学級・学校は、自分たちでつくる～

小島小学校だより
第１７号

金峰山



令和6年９月１７日
文責　小山 恵子

熊本市立小島小学校
www.kumamoto-kmm.ed.jp

地域のつながり

今日は中秋の名月。中秋の名月といえば「お月見泥棒」をご存じでしょうか。この風習、夫の実家で暮らすようになるまで知らなかったのですが、全国各地で行われているようです。本校区もあるのでしょうか。

「お月見泥棒」とは、子どもたちがお供え物をこっそり盗むことをいい、中秋の名月の晩だけは許されるというもの。子どもは月からの使者とされ、子どもがお供え物を食べることで神様が召し上がったことになるとか。お供え物が全部なくなる方が縁起がよいとか、盗まれた家は豊作になるなどのいわれがあるようです。

我が家の地区は、祖父の代は「芋盗み」、今は「あげたかな」という呼び名で、お供え物の代わりに玄関先にお菓子を置いておきます。「あげたかな」というのは、「お供え物をあげたかな？」という意味です。

子どもたちは地区内の家を１軒ずつ回ってお菓子をもらいます。４５Ｌの袋２～３袋にもなるので、子どもたちはこの日をとても楽しみにしています。

夫が子どもの頃は歩いて（走って）回っていたようですが、我が子の時代は自転車になり、今は親が車でついて回っているようです。時代の流れを感じます。

このような風習が今でも残っているのは、地域のつながりがあるからこそ。「〇祭り」「どんどや」など地域によっていろんな風習があると思います。
昨今、地域のつながりが薄くなっていると話題になりますが、いざという時頼りになるのは「ご近所さん」。ご近所づきあい、地域のつながりを大事にしたいですね。

今週末からようやく気温が　３１℃まで下がってくるようです。早く涼しくなってほしいですね。